



# 桜だより

伊丹市立桜台小学校  
校長 日外 亮



4月17日(水)

毎週水曜日の5校時は、のびのびの児童が一堂に介して楽しく学習を進める「みんなの活動」、略して、「みんな活」の時間です。

今日は、記念すべき第1回目！！

はじめはみんな何が始まるのだろうと、かなり硬い表情でしたが、それも一瞬でした。まずは、先生方の紹介。続いて、自己紹介。みんなの前でお話するのは、とても緊張しましたね。でも、「わたしの好きな食べ物はギョウザです！」や、「ぼくの好きな果物はいちごです！」など、友だちに大きな声で上手に伝えることができました。

その後、協調性を育むことや自立活動をねらいとした「じゃんけん列車」や「ぼくだんゲーム」を行い、交流を深めました。

ちなみに私は、張り切って「ぼくだんゲーム」に参加したのですが、2回アウトになり、退場となってしまいました…。



4月18日(木)

6年生は、1・2校時に全国学力・学習状況調査がありました。

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立を目指しています。

1校時目には国語、2校時目には算数の調査がありましたが、みんな頭をフル回転させながら、最後まで粘り強く取り組みました。

放課後、教員で児童のアナフィラキシーショックに対応するため、エピペン講習会を実施しました。



アナフィラキシーショックとは、アレルギー反応の一種です。私たちの身体には、ウイルスなどの外敵を倒そうとする「免疫」という機能が備わっており、この免疫が食べ物等、本来害のないものにまで過剰に反応し、身体に良くない症状を引き起こすことをアレルギーと言います。

アナフィラキシーの場合、アレルギー物質が身体に入ってから短時間で全身に発疹や痒みなどが急激に発症し、ひどい場合には呼吸困難や血圧低下、意識障害といった症状となってしまいます。このように、生命に危険な状態になることを医学用語で「ショック」といい、アナフィラキシーによって引き起こされたショックを「アナフィラキシーショック」と呼んでいます。

また、エピペンとは、アナフィラキシーの症状が出た時に自己注射するペン状の補助治療剤のことを言います。

養護教諭から説明を聞き、動画を視聴した後は、それぞれエピペンの打ち方の確認を行いました。

お子様の命を守るため、学校として最善を尽くしてまいります。

